

【事務局報告事項】

第2回佐世保市地域公共交通活性化幹事会（平成27年2月17日開催） における主な意見等について

1 鉄道とバスの役割分担はできているのか？

鉄道とバスが一定の棲み分け住み分けができているのであれば、バス・鉄道事業それぞれ効率化を継続することにより持続可能な公共交通ネットワークが維持できるということになるのか。それとも、抜本的なネットワークの考え方を変えなければならないのか？

再度、整理を行うように。

（事務局整理）

⇒ある一定の棲み分けはできており、それぞれの効率化をすすめるだけでなく、特性を活かした利用促進や相互の乗継等における連携を強めることで、持続可能な公共交通ネットワークが維持できるものと考え。

棲み分けとしては、鉄道については、郊外を中心に通勤通学をはじめとした市民生活の足を支えるとともに、広域輸送としての役割や観光客等の市外からの交流にも貢献していることが窺え、利用者は近年、微増傾向にある。

一方バス利用者は地域の人口減少の影響を受け、減少傾向にあるものの、郊外部より特にバスの利便性の高い市中心部周辺地域における移動を中心に、より細やかに市民の生活に密着した存在となっていると整理することができる。

2 今後における人口減少の影響はどの交通機関に直接的に現れるのか？

⇒市民の生活により密着していることから推測すると、バス事業に影響が現れるものと考え。

3 今後の施策のすすめかたは？

⇒施策の内容等について交通事業者と十分に調整を行い、書き込みを進めていくこととする。